

「心に残る文化財子ども塾」学習指導案

日時 令和7年10月15日(水)

9:30~10:15

場所 出雲市立多伎小学校 6年生教室

対象者 6年生18名

指導者 多伎小学校 教員
世界遺産室職員

1 主題 「石見銀山の歴史と価値を知ろう」

2 ねらい

- ・世界遺産の意味や石見銀山の歴史を学び、石見銀山への興味をもつ。
- ・地域の歴史を学び、ふるさとを誇りに思う気持ちを育てる。
- ・銀貨幣や本物の銀鉱石に触り、銀について学ぶ。

3 展開

時間	学習内容	教師の支援	分担/準備物
9:30 (5分)	○あいさつ/講師の紹介 ○本時の学習の確認	○講師の紹介をする。 ○学習の内容やねらいを説明する。	担任
9:35 (20分)	○石見銀山について知る	○石見銀山について、世界遺産になった理由や価値を知る。地域の歴史に興味を持ち、現地を訪れた際の気づきにつなげる。	室職員
9:55 (10分)	○鉱石・貨幣・道具 に触ってみよう ① 実物の銀鉱石に触れる ② 江戸時代の実物の丁銀や中世の丁銀のレプリカに触れる ③ 鉱山道具の手プリカ ④片付け	○銀を含む鉱石や、銀の貨幣、鉱山の道具について知る。 本物に触れることで、銀についての興味や関心を高める。	室職員/担任
10:05 (10分)	○まとめ ・学習のふりかえり、感想発表 ○あいさつ	○本時の学習で学んだことをまとめたり、発表を促したりする。	

4 準備するもの

(学校) パソコン・大型テレビもしくはスクリーン(座学PowerPoint用)、
体験品を載せる長机2、カメラ、筆記用具

(文化財課世界遺産室) 座学資料(プリント、PPT用のUSBもしくはDVD)、
体験品(銀鉱石・銀貨幣・鉱山道具レプリカ)、手袋、カメラ、アンケート